

■トラック9 夜の本番 メリáver

//BGM 夜の海辺の波の音

//SE 男性がもぞつく布音

//メリア 左耳元で

声を出さずに囁きます

「お客様？ うん？ あはあ いいよー？
お客さんはそのまま寝てて？」

「メリアおねえちゃんが…あ
上に乗ってあげる…から」

//SE 男性の上に乗る布音

//メリア 男性の上に乗るため
正面少し遠くへ移動しながら
小声で囁きます

「んっ しょつと…(男性に乗る)
んふー 乗っちゃった にひひ」

「ねーえ？ お客様？
メリアおねえちゃんと
もう一回ちゅーしょ？」

//SE キスするため正面近寄る布音

//メリア キスするため正面近くへ
移動しながら小声で囁きます

「うんうん…じゃ

んっ んう んう(近寄る)

//SE キスしてる最中のもぞつき音

「ん…ちゅ

じゅる んっ ちゅ」

「んちゅ…じゅるる ぐぷ

んふー れおれおれお

んちゅ ぐちゅる ぐちゅ ぐちゅ」

「んはあ はむ んっ お客様あ

んちゅ じゅるう

ぐちゅぐちゅ ぬちゅ

ぬらぬらぬら んはうあ…はむ

んちゅ ちゅ ちゅー…」

「ぷはあ んはあ はあ…はあ…」

//SE 抱きつく布音

//メリア 抱き付いてくるため左耳元へ
移動しながら声を出さずに囁きます

「んー ぎゅ…抱きつく

えへー お客様とのキス

気持ちよくって 大好き にひー」

「こんなに気持ちくしてくれるお客さんのこと…」

／＼だーい好きだよ　をさらに耳元で強調する

「だーい好きだよ？　んふうー」

「あ…ねーねーお客様？

おちんちん入れる前に…

素股でくちゅくちゅっして…

メリアおねえちゃんも

気持ちくなってもいい？」

「メリアおねえちゃんね…

お客様のおちんちんに

クリトリスを擦って

気持ちよくなりたいよお…」

「はあ…はあ…

お客様…んう…えへ…うん　じゃ…

//SE セリフに合わせ素股する粘液音

//SE 素股に伴う布音

「んっ しょ…(腰を動かし始める)」

「んっ んっんっ

あ…にひひ…ほら 当たってるよ？」

「お客様 の おち…んちんの

先っちょ… はっ はあ…

メリア おねえちゃんの…

んっ んう

一番 感じ ちゃう とこに…」

「はあ はあ あっ

んんっ これ…んっ

あ… くっ

気持ちっ 気持ちーよ」

「お客様 んっ お客様のおちんちん

メリアおねえちゃんの に あっ んっ

当たって んっ んあ

くちゅくちゅ いって… ふあ」

//メリア キスするため正面近くへ移動しながら声を出さずに囁きます

//SE キスするために顔を寄せる布音

「お客様…好き…だよ…」

んっ お客様…んっ

お客様あ…(移動する)」

「んっ ちゅー…も…んふう」

//キス

「はああむ んちゅ じゅる んちゅ

んっ んっ んう んはあ きもちっ」

//SE 抱きつき耳元へ移動する布音

//メリア 抱き付くため左耳元へ移動しながら声を出さずに囁きます

「あっ んう あ 腰っ 止まんないっ

んっ んああ はっ はう

好きっ好きいい…」

//SE 激しくする素股音

//素股を早める

「んんっ はあ はっ すごっ

んっ あ あんっ んふ

んっ お客様っ お客様

好きっ 好きいい んっ はっ 大好き

大好きだよお」

「あっ んっ ふっ んっ ふっ ダメ
んっ んっ イク ここっ
クリ んっ トリス んあ
こ 擦ってたら すぐっ」

「ふっふっ んっ もっダメっ イク
いくよっ いっちやういっちやう
お客様 お客様
あ あ あっ あっ!」

//SE 素股音停止

//絶頂

「んんっ んんんんんん!」

//SE 脱力する布音

「んっ んはあ(脱力) はあ はあ…
ふう んはあ…はあ はあ…ふあ はあ」

「ふう はあ はあ…」

えく… えくく」

「お おちんちん擦るの…
気持ちよ過ぎて…」

メリアおねえちゃん…
イ イっちゃった
にへ…へへへ…」

「ふう ふう はあ ありがとうございますお客様」

//SE キスに向け正面へ移動する布音

//メリア キスするため正面近くへ

移動しながら声を出さずに囁きます

//キス

//SE キスに伴う布音

「はあむ んちゅ ちゅ ちゅぷ
好きだよ 好き…はむ んちゅ」

「んっ ちゅ じゅる んちゅ
はあむ ん んちゅ ん

お客 はまあ…

はむ んちゅ

れおれおれお…んちゅ」

「ぷはあ…んはあ はあ

んふふ…ごめんねー

メリアおねえちゃんだけ

気持ちよくなっちゃって」

「でも…お陰で にひひ

おまんこ中までトロトロになってるよ？」

//みるを強調する

「みる？」

//腰を上げて見せる

//腰を上げる布音

//メリア 秘部を見せるため

正面少し遠くへ移動しながら

小声で囁きます

「にひひ…んっ…っっ」

//SE くぱあの粘液音

「ほら くぱあ…」

「あー ほらほら… おまんこ すっっい

えっちになっちゃってる…

あはあ…恥ずかしい…かも にひひー…」

「でもお…んっ…」

お客様のおちんちん入れたら

溶けちゃうくらい気持ちいいと思うよ？」

//SE 指を挿入する粘液音

//指を挿入

「ほら…ね？ んんうつ く…ふう」

//SE セリフに合わせ

指を挿出する粘液音

「ゆ 指入れると… ぬちゆぬちゆって

んっ あっ んう ふう ふう…

えっちな音 聞こえる？」

「んっ んんっ んっく ひゃ んっ

あーあー えへへ ほら やらしー 音

んくっ んあ はっ あ…」

「くっくっ ふぁ お客様 聞いて

メリア おねえ ちゃんの

やらしー 音お」

//SE セリフに合わせ激しくする
指の挿出音

//どんどん激しくしていつてしまう

「お客様 の おち おちん ちん…
ほしく なつてるときの 音っ んっ
んっ」

「だめっ はっ はっ んっ あっ
あっ あんっ お客様…んう
はあ はっ
んっ くっ あっ んは はあ あっ」

「イク んっ また イク お客様に
見られながら あっ 音っ 聞かれ な
がら
イっちゃ イっちゃ あっ あっ んあ
ー!」

//指音停止

「んんんんんんんっ!」

//SE びくびくと跳ねる音

「んっ んくっ! んあ
ふっ ぐう あ…あ…あ…んう…
う…んはあ はあ…はあ はあ」

//SE 脱力する布音

「んはあー…(脱力する)
はあ…お客様あ…

もー指じゃ…足りないよお
お客様のおちんちん
欲しくなっちゃった…」

「お客様も もう我慢できないよね
欲しいよね？」

//SE 乗っついて抱きつく布音

//メリア 抱き付いてくるため左耳元へ
移動しながら声を出さずに囁きます

「お客様…お客様あ…んっ…と(乗る)
ぎゅー…(抱きつく)」

「うんうん じゃ…入れちやうね？
大好きだよ？ お客様あ…」

//SE ゆっくりと徐々に挿入する音

「あっ…ふっ…んんっ…んんんっ…
はっ お客様 あ はっ はっ くる ん
っ はっ」

「お客様 んっ お客様 あ…」

//SE 奥まで入る挿入音

「んっ んっ 好きっ く…んんう！？」

//SE 挿入中のくぶくぶとじう
結合部の音

「ん…んんう…んはあ はあ…はあ」

「んはあ はあ はあ…

えへへ おまんこ」

ぬるぬるだからすぐ入っちゃったねー」

「あー すっ…

おまんこの中でお客様の

びくびくしてる…」

//SE 腰を少し振る布音

//SE 腰を振る粘液音

「ほらぁ どうだろう？ んっ ふっ
メリアおねえちゃんの ナマおまんこ…
きもちー？」

「ぬるぬるで…キツキツで…

あったかくてきもちーでしょ？
んくくー…」

//SE 腰ふり音停止

「はぁ はぁ

メリアおねえちゃんのおまんこは
お客様から精液を絞りとるために…

おちんちんきもちよく出来るようにな
ってるんだから」

「えへへ…お客様の

おっきい勃起おちんちんで
メリアおねえちゃんのエッチなとこ
たっぷり味わってね？」

//SE 男性がもぞつく布音

「んー？ んふー うんうん
そうだよね 入れてるだけじゃ
我慢出来ないよね」

「いいよー メリアおねえちゃんも
もー我慢できないし

このまま腰を動かして…

メリアおねえちゃんのどすけべおまんこ
堪能させてあげるね？」

// エッチスタートを強調します

「うんうん じゃ…

エッチスタート…にひひ」

//SE セリフに合わせて挿出音

//SE 挿出音に合わせベッドの布音

「んっ んっ ふっ あっ ふっ

ふぁ おちん ちん 来てる はぁはぁ

んう…んあ…はぁ はぁ んっ！

んく はぁ…」

「奥っ んっ ふっふっ

奥 まだ 子宮 まだ

んう お客様の おちん ちん あっ

んっ ふっ 来てるよお

お客様 あ…んう

これ…きもちっ…んんっ」

「わかる？ 当たってるよ？

お客様のおちんちんの先っちょ

んおっ んうあ はっ はっ」

「んっ ふっ あっ あっ

メリアおねえちゃんの一番奥に

んっ ふっ 子宮口に

んっんっ コツコツって」

「あっ んっ ふっ あっ

これっ これっ きもちーよお」

「んっ んっ お客様っ お客様あ…

ちゅー しよ

交尾 しながら…ラブラブ って…

ふっ ふっ

ちゅー もお」

//SE キスするため抱きつく布音

//メリア キスするために正面へ移動し

ながら声を出さずに囁きます

「うん…(移動)

んっ はあむ んちゅ ちゆる んっ

んちゆるる」

「んはあ はっ はっ こんな

んっ きもちくて

メリア おねえちゃん あはっ

おかしく なっちゃいそう」

「はあむ んちゅ ちゅ じゆる んちゅ

はむ んっ お客様 はま んっ じゆる

んはあ 好きっ…んっ んっ!」

「んっ…んふふ お客様も…」

すごい可愛い顔してるよ

目がとろんて んぁ してえ ふっ
んう 血走っ てて…

交尾 してるときの オスのっ
顔 してるっ はっ はっ

「お客様 も んぁ 感じてるん だね
はむ んっ ちゅ じゅるる んはぁ
はぁ はぁ」

「メリア おねえちゃんの おまんこで
んっ んっちゅ んっ ちゅ じゅる
んはぁ はっ はっ おちんちん
きもちーんだもんね」

「あっ んっんっ
ほら ほらっ おちんちん
もっと もっと きもちくっ
させちやうよ」

「腰 動かすたび に んっ はっ
くちゅん くちゅんって
えっちな 音 鳴らし ながらぁ
あっ ああっ んうぁ」

「あっ あっ これ
えっち すごい えっち だよ
んはっ あっ あう んぁ あんっ」

「お お客様 はっ はっ んっ ちゅ
メリア おねえちゃんの おまんこ
好き？」

メリアおねえちゃんの ふっ んっ
どすけべ おまんこ 好き？」

「んんっ 好き だよね んっ んう
こんなにい んっ んっ おちんちん
突き入れ させるたびに

奥っ 子宮 コツコツ させるたびに
びくんびくん してるん だもんね」

「はっ はっ メリア おねえちゃんの
あっ ああっ んあ
おまんこ 大好きだよね
んっ んっ んっ んっ！」

「はっはっ 可愛いっ
んっ あ んっ 可愛いよ
お客様 あ お客様 あ… えへ
えへへっ んああ！」

「はあむ んっ ちゅ ちゅ じゅるる
んちゅ れおれおれおれお…はむ んっ」

「んっんっ あっはっ きもちー
気持ちーよ おちんちんきもちっ」

「子宮口 コツコツ させるの いいよ
子宮口 に おちんちん
ちゅー されると
んっ あっ あんっ 頭
んっ はっ おかしくなりそ」

「あはあ お客さまも？」

はっ んっ おかしくなりそ？」

「いいんだよ？ もっと激しく

腰 腰っ 動かして あげる からあ
あっ んうあ」

//SE 抱きついて左耳元へ移動する布音

//SE セリフに合わせ激しくする挿出音

//メリア 左耳元へ移動しながら
声を出さずに囁きます

//腰のふりを激しくし
セリフも激しくなります

「んっ あっ お おかしく
なって いいからね
あっ んっ んんっ あっ
はっ はっ んんっ！ んはあ」

「おっ はあ あはあ 腰 んはっ
あ あっあっ
やらしっ 音 どんどん
んっ おっきく なってる よっ」

「はっ はっ ああっ
ぐちゅん ぐちゅんって
お客様 と えっちしてる 音
お客様と 生交尾 してる音お」

「んっ んっ あっ あんっ
こ こんなに

やさしいこと しちゃったら
もう ふっ ふっ

メリア おねえちゃんとの
えっち じゃなきや

あ ああんう んくう…

満足 できなくなっちゃうね」

「いい？ いい？

お客様 の おちんちん に

メリア おねえちゃんの

えっち おまんこの 感触

教え こんじゃうよ はっ んはっ

「ほらっ ほらっ 覚えてえ

メリア おねえちゃんのお

やらしい 腰の 動き」

「おちんちんの 先っぽから 根元まで
ズブズブ される感触っ」

「ちゃんと んうあ はっ はっ

覚えてね んあ はっ あっあっ」

「んっ 出たりっ んっはあ

入ったり すごっ ずぶずぶ すごっ」

「すごいっ おちんちん で

おまんこ 擦られるの あはあ…

あっ んあ あっ

んふっ んっ きもちっ よお」

「はっ はっ はっ はっ はっ

もう無理？ 出ちゃう？ おまんこで

メリア おねえちゃん の 中で

おまんこ の 中で 精液 精液出る？」

//SE さらに激しくする挿出音

//男性をイカせるために

絶頂に向け挿出し演技も激しくします

「はっ はっ あっ はっ はっ

んっ あっ いいよ んっ いいよっ！

だして あっ んう 出してえ！」

「全部 搾り取って あっ あげる

おまんこっ 子宮 でっ 全部っ 全部」

「だから おもいつきり 精液出して！」

「お客様っ んっ 好きっ好きっ

出してっ 出して出して！

あっ んっ んっ んっ！

んっ！ んっ！」

//SE 射精音

//SE 結合部から精液が溢れる粘液音

「んんんっーっ」

//SE 射精音

//SE 結合部から精液が溢れる粘液音

「んはぁぁー！」

//SE 弱い射精音

//SE 結合部から漏れる粘液音

「ああ(射精される)

あっ あ…はっ はぁ

…うっ ん んう でて…出てる…」

「お お客様の精液…どくどく…ぐっぐっ」

//SE セリフに合わせどくどくどく

という弱い射精音

「んっ！ んっ！ んっ！」

//SE 結合部から精液が漏れる音

「はっ！ はぁ…はぁ…

ふっあ えへ…えへへ」

「すい…すいおい…よお

お客様の精液 すい熱い…」

「んふう あー まだ出てる…

いいよー？ ぜんぶ出して？ ね？」

//SE 頭を撫でる音

「よしよし(頭を撫でる) ……あはあ…
まだびくびくしてる…んふう」

「ほらあ きゅっ キュー…って
おまんこ閉めてあげるから…」

//SE 抱きつく布音

「ん…ぎゅー」

//SE どちゅどちゅ…
という漏れる射精音

「んふう…ぎゅぎゅ…って
出てる出てる」

「お客様？

メリアおねえちゃんもおまんこで
びゅーするの きもち？」

「うんうん そっかー
えへへ にひーうれし…」

//SE 撫でる音

「うー子 うー子(撫でる)」

「射精してるお客様
すっごくかわいいい んふ かわいいっ!」

//SE キスするために移動する布音

//メリア キスするため正面近くへ移動しながら声を出さずに囁きます

//キス

//SE キスに伴う布音

「お客様あ

はーむ…んちゅ

ちゅ ちゅ ぱ」

「あは えへへ… はむ ん

じゅる じゅる…

ちゅ ちゅく…じゅるう

んっ ちゅ…ちゅー…んはあ」

//SE 抱きつく布音

//メリア 抱き付いてくるため左耳元へ

移動しながら声を出さずに囁きます

「あ…えへへ…あ…おまんこから…

精液溢れてきちゃった」

「すっ…い いっぱい出したもんね

えへへ いっぱいびゅー出来て

かつこよかったよ?」

//SE 腰を揺らす

「ほら おまんこ」

くちゅくちゅくちゅー…」

「えへー お客様の精液が

メリアおねえちゃんのおまんこで
ぬちゅぬちゅしてる音ー」

「いひひ えっちなだね

す…こい 量…ほら 見て？」

//SE 股に手を伸ばし

精液を手取る粘液音

//メリア 股に手を回すため正面近くへ
移動しながら声を出さずに囁きます

「ん…んっ」

「あはぁ…こんなに濃厚 真っ白で
プルプルしてる いひー」

//SE 手の精液を飲み込むための
動きの布音

「これを…

はむ…んちゅ

ん…ぽ ぐくん…んっ」

「んふー…味もすっごい濃厚

生エッチして

精液濃くなっちゃったかなあ

えへへ」

「あ…あはあ…おまんこの…中で
おちんちん…えへ だんだん
小っちゃくなつてきちゃったね…」

「じゃー…あ そろそろ ぬこっか？
ん。」

「うんうん」

//SE ぺ ニスを引く抜くため動く布音

//メリア ぺ ニスを引き抜くため正面少
し遠くへ移動しながら小声で囁きます

//SE 引き抜く際の粘液音

「んっ んっ あ… はあ
くく ニスを引き抜き始める」

//SE ぬぼんっ抜かれる粘液音

「んあっ！ …ん」

//SE 結合部から精液が垂れる粘液音

「あー えへへ すっぴん 精液…
あ…垂れて来てる…あ…んあ」

//SE フェラの位置へ移動する際の布音

//メリア フェラの位置へ

移動しながら小声で囁きます

「はあ…はあ…ちよつと待つてー

んんっ…しょ…(移動する)」

「精液…おちんちんに

いっばいついちゃったから…

全部舐めとってあげるねー」

//SE フェラするために

顔を近寄せる布音

「んふー とろとろだあ…

はああ…む んぐ…んぐっ

ちゅぷ ちゅ じゅるる じゅる

ん…んっ ちゅぽ」

「ちゅー…ー…ぽ」

「いくん…くん…ん…んふう」

「はあむ れおれおれおれお…

れー…お れー…お

れー…お れー…お ちゅっぽ」

「いくん

んふ えへえ… おいしかったよ…

にひひ…(ちそうさまでした)」

//SE 横に添い寝する布音

//メリア 左耳元へ移動しながら
声を出さずに囁きます

「んうしよ…つと(移動する)」

「ふはぁー……」

はー…えへすつこいきもちかったね」

「お客様とのえっち…」

もう病みつきになっちゃいそ んふう」

「ねーえ？ お客様？

ぎゅーしていい？ ぎゅーう…て」

「うんうん やたやた！」

//SE 抱きつく布音

//メリア 抱き付いてくるためさらに
左耳元へ移動しながら
声を出さずに囁きます

「んー！ ぎゅー……！

んふー…… お客様ぁー…」

「んふう 好き

好きだよ お客様」

//SE 髪を擦り付ける布音

//髪を擦り付けてくる

//メリア 摺りつけてくるため

左耳元で左右に移動しながら
声を出さずに囁きます

「んーんーんー！（髪を擦り付ける）」

//メリア 左耳元で

声を出さずに囁きます

「んふふー」

また たっくさん

メリアおねえちゃんと

エッチしようね？」

「うんうん！ 約束だよー？
にひひひー…」

//フェードアウト